

自分の^{いのち}生命は自分で守る!

しゅうなん

防災

令和5年10月更新

保存版

目次

特集 周南市の記録 ~平成30年7月豪雨~	2~3
洪水編	4~5
土砂災害編	6~7
地震編	8~9
津波編	10~11
台風・高潮編	12~13
ハザードマップとは?	14~15
自主防災組織	16
災害対応家族会議	17~19
非常持出品・備蓄品	
災害時要配慮者を災害から守る	20~21
防災情報収集伝達システム	22~23
危険を感じたらすぐ避難しよう!	24~29
警戒レベル・洪水からの避難・地震のときの避難・マイタイムライン	
緊急避難場所・避難所一覧	30~35
避難所の再確認をしましょう	
避難所心得	36
女性・子どもに配慮した避難所生活での防犯と工夫	
緊急時テレホンガイド	37

さいがい ひとごと
災害はもはや他人事ではありません。

ただ ぼうさい ちしき も
正しい防災知識をしっかりと持ちましょう。

じぶん く ちく さいがい ひがい
まずは、自分の暮らしている地区は、どのような災害の被害を
う か のうせい し
受ける可能性があるのか、あらかじめ知っておきましょう。

たいふう たか しお
台風・高潮 P12へ

どしゃ さいがい
土砂災害 P6へ

こうずい
洪水 P4へ

しん
地震 P8へ

つ なみ
津波 P10へ

災害とひとことで
言っても発生する
場所によって被害の種類は
ちがうんだよ。

この本に登場する
家族紹介



パパ



ママ



しゅう
周くん



みなみ
南ちゃん



おじいちゃん
おばあちゃん



プチ



平成30年7月豪雨 周南市の記録

台風第7号と停滞した梅雨前線などの影響で起きた「平成30年7月豪雨」は、西日本を中心に各地で甚大な被害をもたらしました。多くの死者や負傷者がでたほか、河川の氾濫や土砂災害、浸水などが相次ぎ、断水や道路の通行止めによる物流の停滞は、多くの人の日常生活に多大な影響を及ぼしました。

周南市も例外ではなく、熊毛地域の樋口地区では大規模な土石流が発生し1名の尊い命が犠牲となりました。三丘地区では島田川が氾濫し、多くの家屋が床上・床下浸水し、また住居だけではなく、車や家具・家電など多くの財産も失われ、その経済的・精神的な被害は計り知れない程の記録的な災害となりました。

周南市の被害状況

死者	1人
負傷者	3人
家屋全壊	4件
大規模半壊	2件
半壊	39件
一部損壊	11件
床上浸水	38件
床下浸水	64件
避難者	249人





市でも「公助」として最大限の防災対策を講じていますが、行政ができることには限界があります。災害による被害を最小限に抑えるためには、自分の身は自分で守る「自助」と、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」の考え方が大切です。

「自助」「共助」「公助」、それぞれが補完し合い、「生命」「財産」を守るための指針として、「しゅうなん防災」を作成しました。

災害を防いだり被害を減らすには、災害についてよく知り、早く、適切な行動をすることが重要です。ご家族での防災会議や、地域の皆さんとの話し合い・訓練等に活用してください。

洪水

こわいよ～
お家大丈夫かなあ…

いつもの道が
水であふれて池のよう
になってるわ



洪水とは

洪水とは、大雨などによって河川の増水や氾濫^{はんらん}、または、側溝・排水路などが雨を処理しきれず陸地にあふれだすことです。



「周南市ハザードマップ」ってなに？



洪水や河川の氾濫による洪水浸水想定区域、避難所などが記載されている地図です。

掲載ページはP14へ



我が家の避難ルール作りに役立てましょう！

ハザードマップ
スマホ・タブレットの方はこちら▶

パソコンの方はこちら
周南市ハザードマップ



お外の雨が強くなってきて怖いよ。
これって大丈夫かな？



雨が激しく降り続いたりすると、川の水位が増えて災害が起きる可能性が高いのよ。



雨量と被害の目安



 やや強い雨	 強い雨	 激しい雨	 非常に激しい雨	 猛烈な雨
1時間に10mm以上～20mm未満	1時間に20mm以上～30mm未満	1時間に30mm以上～50mm未満	1時間に50mm以上～80mm未満	1時間に80mm以上～
ザーザーと降る。 この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	どしゃ降り。 側溝や下水、小さな河川があふれ、小規模の土砂崩れが発生する。	バケツをひっくり返したように降る。 山崩れ・崖崩れがおきやすくなり、危険地域では避難が必要。マンホールから雨水があふれる。	滝のように降る。 車の運転は危険。マンホールから水が噴出する。土砂崩れなど多くの災害が発生する。	息苦しくなるような圧迫感がある。 恐怖を感じる。 大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。
    				
屋外の様子				
地面一面に水たまりができる。 		道路が川のようになる。 		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 

そういえば、テレビで**1時間に何ミリ**とか言ってたわ。次から注意して聞いておこう。



河川の氾濫など浸水被害にあわれた方によると、皆「**あっという間に水が増えていった**」と言われているのよ。テレビ・ラジオ・インターネットで正確な気象情報を収集し、早めに避難しましょう。



土砂災害



こうして起こる！土砂災害

梅雨や台風の時期など雨が多くなる時期は注意しましょう。雨量が1時間に20ミリ以上、降りはじめから100ミリ以上になると十分な警戒が必要です。また、地震の後も土砂災害が発生しやすくなります。

●土砂災害の種類

がけ崩れ

雨水がしみ込んで、柔らかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。急に起きるため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い災害です。



土石流

長雨・集中豪雨などで、山腹や溪流の石や土砂が一気に強大な威力と速さで、進行方向にあるものを飲み込みます。



地すべり

豪雨や長雨で、ゆるくなった斜面の一部が、地下水や重力の影響でゆっくりとすべり落ちる現象です。



●前兆現象

前兆現象を少しでも感じた場合は、ただちに避難をしましょう。

- ・崖に亀裂が入る。
- ・崖から小石がバラバラ落ちてくる。
- ・崖からの水がにごる。
- ・山鳴りがする。
- ・急に川の水がにごり、流木が混ざり出す。
- ・腐った土の匂いがする。
- ・斜面から水が噴き出す。
- ・地面にひび割れができる。
- ・樹木や電柱が傾く。



土砂災害にあわないようにするにはどうすればいいの？



まずは、自分の住んでいる家の場所（エリア）が

ど しゃ さい が い けい かい く い き

土砂災害警戒区域

または

ど しゃ さい が い と く べつ けい かい く い き

土砂災害特別警戒区域

に入っているかハザードマップで事前に調べておくことが大事だよ。

①警戒区域の種類

ど しゃ さい が い けい かい く い き
土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域

ど しゃ さい が い と く べつ けい かい く い き
土砂災害特別警戒区域

建物に破壊が生じ、住民に著しい
危害が生じる恐れのある区域

山口県土砂災害
ポータル
スマホ・タブレット
の方はこちら



ハザードマップ
スマホ・タブレット
の方はこちら



②避難所の確認



家族と一緒にハザードマップ
（またはP30）をみて適切な
避難所を確認しよう。



自分の家の裏が山や崖の場
合、少しでも危険と思えば早
めに自主避難をすること！



③警報に注意する

- 気象庁から発表される^{おおあめけいほう}大雨警報に注意する。（危機感をもつ）
- ^{ど しゃ さい が い けい かい じょうほう}土砂災害警戒情報が発表されたら、自分が今いる場所の近くに
崖や斜面がある場合は、その場所から早く離れ、適切な避難所
に行くようにする。

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、今後大雨が降り続くと
予想されているのであれば、早めに避難したほうがよいでしょう。



地震

ゴゴゴゴゴ...



地震の揺れと被害想定

<p>震度 0</p>	<p>人は揺れを感じません。</p>	<p>震度 5弱</p>	<p>家具が動いたり、食器や本が落ちたり、窓ガラスが割れることもあります。</p>
<p>震度 1</p>	<p>屋内にいる人で揺れを感じる人もいます。</p>	<p>震度 5強</p>	<p>タンスなどの重い家具が倒れたり、ブロック塀が崩れることもあります。</p>
<p>震度 2</p>	<p>屋内にいる人の多くが揺れを感じます。</p>	<p>震度 6弱</p>	<p>立っていることが難しく、壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなります。</p>
<p>震度 3</p>	<p>棚の食器が音をたてることがあります。</p> <p>カタカタ...</p>	<p>震度 6強</p>	<p>這わないと動くことができません。重い家具のほとんどが倒れ、戸が外れます。</p>
<p>震度 4</p>	<p>寝ていてもほとんどの人が目を覚まします。歩行者も揺れを感じます。</p>	<p>震度 7</p>	<p>自分の意思で行動できなくなります。大きな地割れ・地すべり・がけ崩れが発生します。</p>

予告なく襲ってくる地震。家族で、連絡方法や役割分担など事前に決めておきましょう。

家の中の安全対策

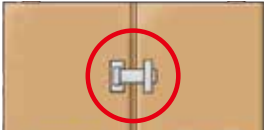
家具の転倒や落下を防ぎ、逃げ場になる安全なスペースをつくっておきましょう。

食器棚・戸棚



L字型金具を使って壁などに固定

扉に金具などを使って開閉防止

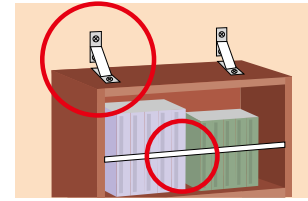


テレビ

できるだけ低い位置で粘着マットなどで固定

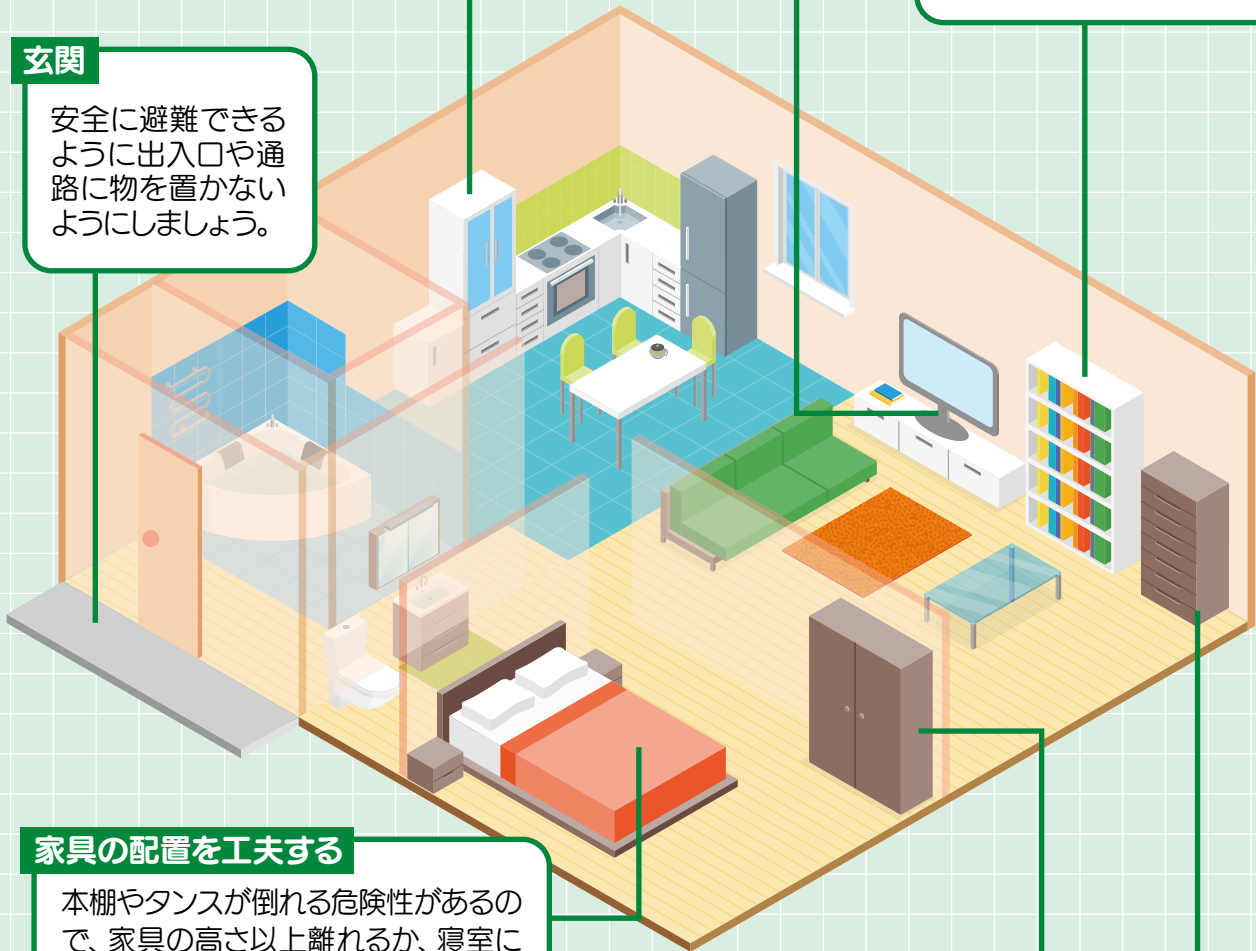
本棚

壁と本棚をベルトで固定



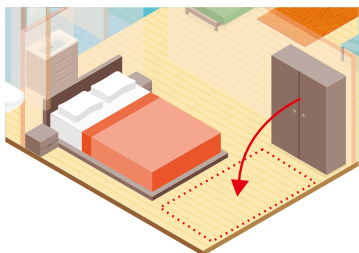
玄関

安全に避難できるように出入口や通路に物を置かないようにしましょう。

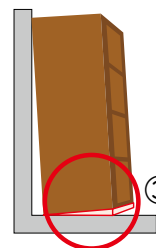


家具の配置を工夫する

本棚やタンスが倒れる危険性があるので、家具の高さ以上離れるか、寝室には家具を置かないようにしましょう。



タンス



- ① 壁などに金具で固定
- ② 上下の家具を金具で固定
- ③ 差し木などをタンスの下に入れて転倒防止

家の周りの安全対策

屋根やベランダ、ブロック塀などの安全対策にも日頃から心がけましょう。

津波 なみ

こんな津波が来たらと想像するだけで怖いわ



特徴

- 津波はくり返し襲ってきます。
- 20~30cm 程度の高さでも、波にさらわれる危険があります。
- 引き波の破壊力もすさまじく、陸で引き波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。

南海トラフ巨大地震による周南市の津波被害想定

(平成26年3月27日山口県地震・津波防災対策検討委員会)

	最高津波水位 (TP*上)	到達時間
徳山下松港	3.5m	143分
福川漁港	3.5m	139分

※ TP…東京湾平均海面

詳しくはこちら▶



南海トラフの巨大地震



ハザードマップ

東日本大震災の教訓

●死亡者の過半数は高齢者

60歳以上の比率：64.4%

●死因の9割は溺死

津波の「水圧」、「水流」、「漂流物」という3つの要素が大きな影響を与えていたと考えられます。

●避難は率先して

津波が来ると知らされていても、どこか他人事に考え、避難のタイミングが遅れて被災するケースがありました。自ら危険だと判断した場合は率先して避難しましょう。

●「釜石の奇跡」から学ぶ地域防災

岩手県釜石市では子どもたちに、避難3原則

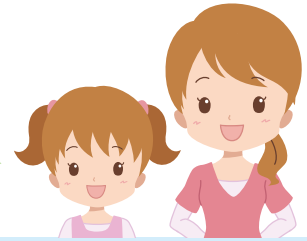
- ①「想定にとらわれるな」
- ②「その状況下において最善を尽くせ」
- ③「率先避難者たれ」

を掲げ、防災教育・訓練に取り組んできました。

日頃から積み重ねられてきた防災教育が実を結び、釜石市の学校では、小・中学生が生存率99.8%という「釜石の奇跡」は生まれたのです。



地震発生から津波警報
発表後の行動をまとめ
ています。



地震発生直前 緊急地震速報

▶強い揺れに備えましょう

地震発生直後 強い揺れがおさまったら…

▶落ち着いて状況を把握し、避難しましょう

地震発生から
2~3分



津波警報発表

●注意報・警報が出たら
冷静な行動をし、避難
してください。

津波到達まで

住まい、職場、学校などに津波の危険がある場合は

すぐ逃げましょう!

地震だ!
津波だ!
すぐ避難!

小さな揺れでも要注意。
まずは避難が最優先。

より早く、遠くへ。
高い所へ避難。

海岸や河川からはできるだけ遠ざかるように避難。

車で避難しない。渋滞を引き起こし、危険です。

持出品は取り出しやすい場所に保管する。

津波情報の解除まで 浸水被害のない緊急避難場所や避難所、高台などに避難

▶津波警報が解除されるまでは、戻らないようにしましょう!

台風・高潮



単位は平均風速 m/s (秒)

風の強さと吹き方

やや強い風	10以上～15未満	<ul style="list-style-type: none"> ●風に向かって歩きにくい ●傘がさせない
強い風	15以上～20未満	<ul style="list-style-type: none"> ●風に向かって歩けない ●看板が外れはじめる
非常に強い風	20以上～25未満	<ul style="list-style-type: none"> ●何かにつかまっていなくて立ってられない ●通常ので速度で運転するのが困難になる
	25以上～30未満	
猛烈な風	30以上～35未満	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外での行動は極めて危険 ●多くの樹木が倒れる ●ブロック塀で倒壊するものがある
	35以上～40未満	
	40以上	



- × 現在の台風の中心位置
- 予報円 (白い破線の円) 台風の中心が入る確率が70%
- 暴風警戒域 (赤線内の領域) 暴風域に入るおそれのある範囲
- 強風域 (黄色い円内) 15m/s以上の風の範囲
- 暴風域 (赤い円内) 25m/s以上の風の範囲
- 経路

●台風の大きさと強さ

台風の大きさと強さは、強風域（風速15m/s以上）の半径と最大風速を基準に決められています。



台風の大きさ	強風域の半径
大型（大きい）	500km以上800km未満
超大型（非常に大きい）	800km以上

台風の強さ	最大風速 単位：m/s
強い	33以上44未満
非常に強い	44以上54未満
猛烈な	54以上

※気象庁「風の強さと吹き方」「雨の強さと降り方」「台風の大きさと強さ」参考

●台風発生時の行動

事前の行動

- ・窓や雨戸の戸締りの確認
- ・倒れたり飛ばされたりしやすいものを固定・撤去
- ・懐中電灯の準備
- ・水や食料、非常持ち出し袋の確認
- ・いざというときの避難方法・避難場所を確認して、家族で共有しておく

通過中の行動

- ・テレビやラジオ、ネットなどから最新気象情報を入力する
- ・県や市からの情報にも注意しておく
- ・家の周辺や田畑などが心配になっても、外に出ない
- ・避難情報が出た場合や危ないと感じた時は、早めに避難する。
- ・避難の時は、高潮や浸水、土砂災害の発生しそうな場所を通らないようにする

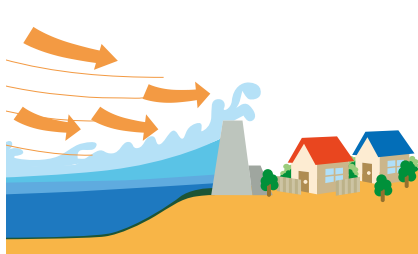
●高潮発生の仕組み

気圧の低下



台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げることで、海面が上昇します。

風の吹き寄せ



台風による強い風で海水が海岸に吹き寄せられて、海岸付近の海面が上昇します。

越波

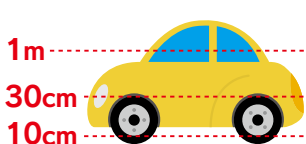


高潮が発生すると、台風による高波が堤防や護岸を越え、浸水のおそれがあります。

●高潮発生時の避難

車での避難

ブレーキがききにくくなったり、車ごと流されたりするため、車での避難は決して安全とは言えません。



1m : ドアが開かなくなる。
30cm : 操作が困難になる。
10cm : ブレーキがききにくくなる。

沿岸部では

海沿いでは海水が濁流となって押し寄せ、堤防を越え家屋の浸水、船舶の損傷などが起きる場合があります。

地下室・地下道

浸水時、水が流れ込む地下空間は非常に危険な場所となる場合があります。

「ハザードマップ」とは？

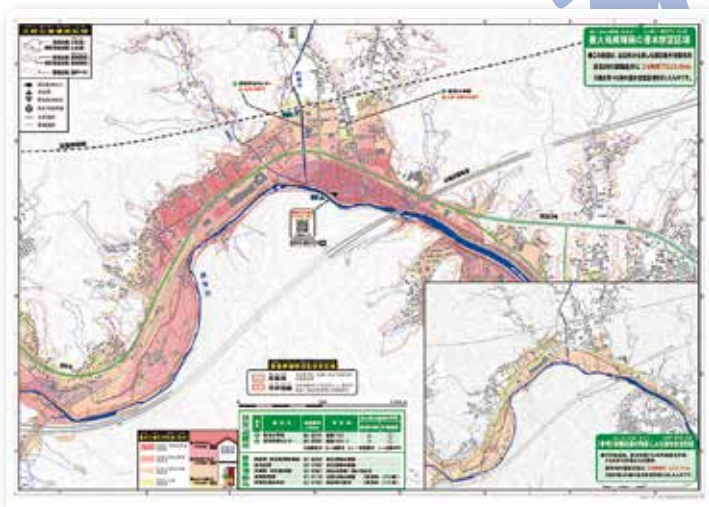


ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、被害の範囲および被害程度、避難場所などの情報を地図上に表したものです。

あらかじめ

- ・ 予想される被害状況の確認！
- ・ 避難場所の確認！
- ・ 避難経路の確認！

をしておきましょう。



周南市では災害ごとにハザードマップを作成しています

「洪水」・「土砂災害」・「地震」・「津波」・「高潮」

ハザードマップ入手・確認方法



直接受け取る

ハザードマップは、周南市役所本庁舎4階 防災危機管理課 または各総合支所 地域政策課・各支所で受け取ることができます。
お問い合わせ ☎0834-22-8208



パソコン・スマホ・タブレットで確認する

ハザードマップは、インターネットでも簡単に確認・ご利用いただけます。

「Web版ハザードマップ」

航空写真をパノラマ化した画像に、各災害における危険箇所等の災害関連情報を簡単に見ることができます。

ハザードマップ
スマホ・タブレット
の方はこちら



「PDF版ハザードマップ」

周南市ホームページにて、PDF版のハザードマップを公開しています。ご自宅のプリンタをお持ちであれば、あらかじめ印刷をしておいて、災害に備えておきましょう。

周南市ハザードマップ

検索

地図表示・印刷の利用方法

Web版ハザードマップで、自分だけのオリジナルハザードマップを作成してみよう。

Web版ハザードマップは、災害時の情報を閲覧するだけでなく自分の家の周辺をクローズアップして、各種災害の予想範囲や避難所など主要施設を選択式で表示させ、プリンタで印刷することができます。自分の必要な情報を特化させたオリジナルのハザードマップを作成してみよう。

→ 周南市サイトより「Web版ハザードマップの閲覧はこちらから」を選択

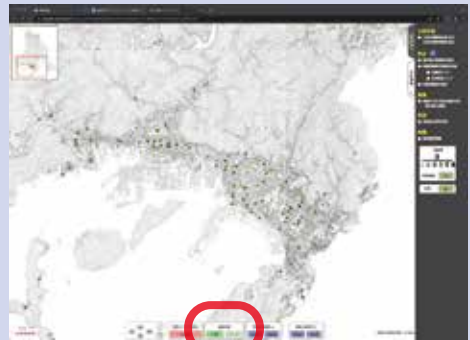
1

Web版ハザードマップを起動し、地図表示の切り替えボタンをクリックすると、地図表示に切り替わります。



2

背景の地図は周南市域図または地理院地図を選択できます。必要な場所を拡大し表示してください。



3

「災害情報」より、確認したい災害種別を選択するとそれぞれの区域や浸水想定等が表示されます。



4

「注記情報」より、表示したい避難所や主要施設等を選択できます。印刷する場合は、凡例あり・凡例なしいずれかを選択できます。



5

印刷プレビュー画面で確認のうえ、印刷してください。
なお、端末の環境により、印刷ページが1ページに収まらない場合があります。その際はお手数ですが、1ページに収まるように倍率を調整して印刷してください。



凡例あり：見出しと凡例含めて印刷
凡例なし：地図面のみ印刷
用紙の向き：縦・横それぞれを選択



地域ぐるみで防災対策を

大災害が発生したとき、交通網の寸断などにより、防災機関が十分に対応できないおそれがあります。そんなときに頼りになるのが「地域ぐるみの協力体制」です。日頃から地域の防災活動に積極的に参加することが、自分の家族や家を守ることにつながります。

自主防災組織とは

自分たちの地域は自分たちで守る

「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の精神に基づき、地域が自発的に防災活動をする組織です。災害時はもちろん、災害後の避難所の運営や、その後の復旧活動にも大きな力を発揮します。



自主防災組織の役割

平常時

災害に備えるための活動をします。

防災知識の普及・啓発

防災講習会などを通じて、正しい防災知識を住民に伝える。

地域内の安全点検

地域内の危険箇所や問題点を洗い出し、改善する。

防災資機材の整備・点検

発電機や非常食、テントなどを整備・点検を行う。

防災訓練

いざという時のために、地域一丸となって訓練をする。



災害時

人命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します。

情報の収集・伝達

市と連絡をとり合い、情報を住民に伝達する。

避難誘導

住民を避難所など安全な場所に誘導する。

救出・救助

負傷者などを救出し、応急手当、救護所や病院に運ぶ。

避難所の運営

避難所で食料・物資の配布、情報伝達などをする。

さいがいたいおう
災害対応
 かぞくかいぎ
家族会議



いざという時に一番たよりになるのは家族です。しかし災害時に必ず一緒に居るとは限りません。「逃げる場所」、「連絡方法」、「役割分担」などを家族で事前に話し合い、家族での決まり事を作っておきましょう。

①「もしも？」シミュレーション

**もし今、地震が起きたら…？
 どうしますか？**

家族の中で「もしも、〇したら〇はどうする？」というシミュレーションは、実際に災害が起きた時、具体的な行動ができる訓練となります。家族でよく話し合しましょう。



②家族のルールを決めよう



集合場所を決めておきましょう。
 「小学校の正門のところ」など具体的に決めましょう。



連絡の取り方を話し合しましょう。
 電話が繋がらない場合、LINEなどの各種 SNS は連絡をとる手段として有効です。



巻末にある災害携帯カードを活用しよう。
 集合場所や緊急連絡先など、必要な情報を家族で共有するために「災害携帯カード」をコピーし、記入して持っておきましょう。



③ 非常時に役立つもの

家族構成を考えて必要な分を用意し、避難時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。
下記の持ち出し品の☑にチェックを入れてみましょう。

すぐ持ち出せる

ひじょうもちだしひん 非常持出品 (例)

災害が発生し避難する時、まず最初に持ち出すべきものです。

貴重品



- 現金 預金通帳 印鑑 免許証 健康保険証 証書関係

<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

衣類 生活用品等



- 下着・上着・靴下 防寒具 タオル 雨具 軍手 ポリ袋
めがね 生理用品 ナイフ ハンカチ ティッシュ
携帯ラジオ 乾電池 携帯電話(スマホ)・充電器
歯ブラシ・歯磨き粉 マスク 除菌グッズ

<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

非常食 飲料水



- 乾パン・クラッカー 缶詰 インスタントラーメン
飲料水(ペットボトルタイプが便利です。) 紙皿・紙コップ・割り箸
缶切り

<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

救急 安全



- 救急箱(常備薬、ばんそうこう、包帯など) 服用している薬
懐中電灯 ヘルメット

<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

乳幼児のいる家庭



- ベビーフード おやつ ほ乳びん スティックタイプの粉ミルク
母子手帳 紙おむつ(圧縮袋に入れておくと便利)
おもちゃ(音の出ないもの) おしりふき・ウェットティッシュ

<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

高齢者のいる家庭



- 必要な情報が書かれたメモ 服用している薬 お薬手帳や処方箋
入れ歯・洗浄剤 電動車いすや補聴器の予備バッテリー

<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

避難生活に備える

ひじょうびちくひん 非常備蓄品 (例)



大災害時には、組織的に救護・復旧活動が行われるまで、**最低3日分 (できれば7日分)** は生活できるように準備しておきましょう。

食品 (レトルト食品・アルファ米など)

洗面用具 (ドライシャンプー・石けんなど)

菓子類 (チョコレート・アメなど)

カセットボンベ・カセットコンロ

調味料 (塩・スープなど)

簡易食器 (割り箸・紙コップ・紙皿など)

水 (1人当たり1日3リットル)

ラップ・アルミホイル

鍋・やかん

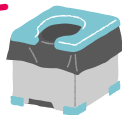
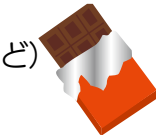
ウェットティッシュ・トイレットペーパー

毛布・寝袋など

使い捨てカイロ・マスク・新聞紙など

簡易トイレ

工具 (ロープ・バール・スコップなど)



<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

ローリングストック(循環備蓄)を実施しましょう!

普段から食べている食品を少し多めに購入しては? その一部を備蓄品とし、賞味期限切れにならないよう定期的に消費、補充を繰り返す「ローリング(循環)ストック(備える)」を実践しましょう。



これなら備蓄に対してのハードルも低くなるし、賞味期限を切らしてしまう失敗も減るわね!



さいがいじょうはいりょしゃ 災害時要配慮者を災害から守る

高齢者や乳幼児、障害者、傷病者、外国人などには、手助けが必要です。災害時要配慮者に手をさしのべられるよう、地域で協力し合いながら支援をしていきましょう。

災害時におけるハンディキャップとは

① 危険を察知しにくい

危険を知らせる警告が聞こえない、見えない視聴覚障害者など

② 危険であることを理解・判断しにくい

日本語に不慣れな外国人、判断力が弱い知的障害者、乳幼児など

③ 危険に対して適切な行動がとりにくい

高齢者、障害者、難病患者、妊婦など

平常時にやっておきたいこと

●日ごろから積極的なコミュニケーションを

どこにどんな状態の災害時要配慮者がいるのかを把握し、どのような支援が必要かを確認しておきましょう。

●地域での具体的な支援・協力体制を決めておく

一人の災害時要配慮者に対して、複数の住民で支援するなど具体策を考えておきましょう。

●災害時要配慮者の身になって防災環境の点検を

耳や目の不自由な人や外国人向けの表示はあるか、障害物はないかなどの環境づくりをしましょう。

災害時にやるべきこと

●すぐに状況を伝える

筆談や身ぶり手ぶりなど、状態に合った方法で状況を伝えましょう。

●安全な場所に誘導する

自分の体を守ることができない災害時要配慮者には、すばやく頭などを保護し、安全な場所に誘導しましょう。一人で誘導するのが難しい場合は、まわりの人に協力してもらいましょう。

●困ったときこそ温かい気持ちで対応を

非常時にこそ、不安な状況に置かれている人の立場に立ち、温かい思いやりの心で接するようにしましょう。

「災害時」の主な誘導方法

高齢者、傷病者・難病患者、乳幼児・妊婦

- なるべく複数で対応しましょう。
- 担架やおぶって避難しましょう。
- 妊婦は体調が変化しやすいため注意が必要であるとともに、移動に手助けが必要になります。



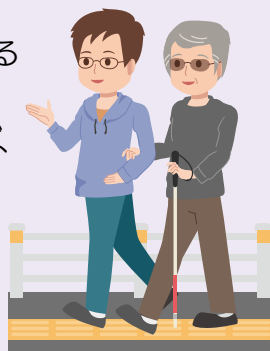
知的・精神障害がある人

- やさしく声をかけ、簡潔に状況を説明しましょう。
- 相手の気持ちを落ち着かせてから、安全な場所に誘導しましょう。



目が不自由な人

- まず声をかけて、そばに居ることを知らせましょう。
- 誘導するときは手を引かず、こちらの肩やひじを貸しましょう。



車いすを利用している人

- 階段等では、必ず複数で車いすを持ち上げて援助しましょう。
- 車いすでの移動が困難なときは、おぶって避難しましょう。



耳が不自由な人

- 話すときには、肩を叩くなどして目を合わせ、口を大きくはっきり動かしましょう。
- 筆談のほか身振り等を交えて情報を伝えましょう。



日本語の理解が困難な人

- 身振りや手振り等でコミュニケーションをとりましょう。
- 日本語でもよいので積極的に支援の意思を相手に伝えましょう。



避難行動要支援者の支援

避難行動要支援者への避難誘導

災害時要配慮者の中でも、特に避難にあたって支援が必要な「避難行動要支援者」の避難誘導には、地域の方の協力が不可欠です。

避難行動要支援者のための個別避難計画

避難行動要支援者の方に円滑に避難していただくため、避難行動要支援者一人ひとりの「個別避難計画」を作成しています。

ご本人、ご家族、そして地域の方は「個別避難計画」の作成にご協力ください。

防災情報収集

情報のやりとり

(自主防災組織の簡易無線機)



自主防災組織簡易無線機

各自主防災組織に5台配置、市と情報を共有します。

監視し、見守る



監視カメラシステム

・河川(5河川7カ所)に監視カメラを設置
市ホームページで公開します。



市役所

災害対策本部

情報の共有



(防災対策室)

ケガ人1名
了解

倒木了解

緊急情報を受けとるために

防災ラジオ

防災ラジオは、「しゅうなんFM」(78.4MHz)を利用して大雨や地震などの災害情報や避難情報などの緊急放送を自動的に受信できるラジオです。

- 電源OFFでも自動で起動
- 災害時は大音量でお知らせ

※本庁(防災危機管理課)・各総合支所(地域政策課)
各支所窓口で購入できます。



費用/1台2,000円

伝達システム

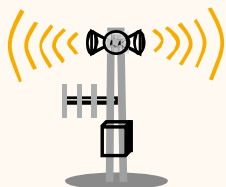
伝える

防災情報伝達内容

地震・津波情報、気象特別警報、避難情報、国民保護情報(武力攻撃、弾道ミサイルなど)

防災行政無線

屋外拡声スピーカーから放送。



コミュニティFM防災ラジオ

「しゅうなんFM」(78.4MHz)を活用し放送。(詳細は下記を参照ください)



しゅうなんメール

携帯電話(スマホ)に配信。(詳細は下記を参照ください)



情報の収集



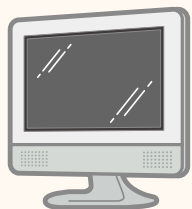
IP告知システム

市内の小・中学校のスピーカーから放送。



テレビ

音声やテロップで放送。



市ホームページ
パソコン・スマホなどで閲覧

広報車

市の広報車や消防などの車から放送。



屋外拡声スピーカーからの放送が聞き取れなかったときは、
「防災行政無線電話応答サービス」 ☎0834-34-0007
で、放送の内容が確認できます。

しゅうなんメールサービス

しゅうなんメールサービスは、携帯電話やパソコン・スマートフォンなどのメールアドレスを登録していただいた方に、市からのお知らせや気象情報を配信するサービスです。(無料)メールアドレスがあれば、どなたでも登録できます。

メールサービスメニュー

- 災害時、緊急時のお知らせ(随時)
- 気象情報
地震：震度3以上(県中部) 観測時
津波：瀬戸内海沿岸で津波の発生が予測
警報：気象庁発表時と解除時
- メールしゅうなん(月1回定期配信)
- 行方不明者、身元不明者情報(随時)
- クマ目撃情報(随時)
- イベント情報等(随時)

※【メールしゅうなん】、【災害時、緊急時のお知らせ】、【特別警報】は登録者全員に配信

登録の仕方

① shunan@xpressmail.jp

にメール送信
または、下の二次元コードを読み取ってメール送信

② 返信されたメールで「登録完了」してください。



しゅうなんメール

警戒レベル
4

避難指示で必ず避難

警戒レベル	市からの避難情報	気象情報	避難行動等
5	 <p>災害発生又は切迫</p> <p>きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保</p>	大雨特別警報 氾濫発生情報	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
~<警戒レベル4までに必ず避難!>~			
4	 <p>災害のおそれ高い</p> <p>ひなんしじ 避難指示</p>	土砂災害警戒情報 顕著な大雨に関する情報 (線状降水帯) 氾濫危険情報 高潮警報 高潮特別警報	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
3	 <p>災害のおそれあり</p> <p>こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難</p>	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報 (警報に切り替える可能性が高い場合)	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
2	 <p>気象状況悪化</p> <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 氾濫注意情報	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
1	 <p>今後気象状況悪化のおそれ</p> <p>早期注意情報 (気象庁)</p>	早期注意情報 (警報級の可能性)	災害への心構えを高めましょう。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。

警戒レベル5

緊急安全確保の

発令を待ってはいけません!

警戒レベル4

避難指示で

危険な場所から
全員避難しましょう。

避難の時間のかかる
高齢者や障害のある人等は、

警戒レベル3

高齢者等避難で

危険な場所から避難
しましょう。

洪水・土砂災害からの避難

洪水・土砂災害のときの

9 のポイント

避難する前に

避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難所を確認しましょう。また、家族・親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で。
2人以上での避難を心がけましょう。



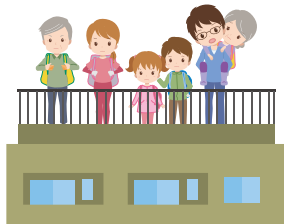
速やかに避難しましょう

避難指示などは、危険が迫ったときに出されますので速やかに避難しましょう。



垂直避難

屋外への避難が危険と判断した場合は、自宅の上層階や近隣の高層ビル等の建物に避難しましょう。



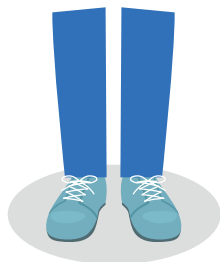
車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞をまねきます。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



履物に注意する!

運動靴が最適です。
長靴は、水深が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。
素足は厳禁です。



歩ける深さに注意する!

歩ける深さは、ひざの高さぐらいまでです。
流速がある場合には20cmぐらいの水かさでも危険です。



足元に注意する!

水の中には何があるかわからないので、杖などを使って安全を確認しながら進みましょう。



お年寄りや身体の不自由な人、小さな子どもを優先する!

お年寄りや身体の不自由な人は背負うなどして一緒に避難しましょう。



地震のときの避難

地震のときの

9 のポイント

避難する前に

もう一度火元を確かめ、ブレーカーを切りましょう。(通電火災を防ぐため)

連絡メモを

外出中の家族には連絡メモを残しましょう。

避難は徒歩で

避難は徒歩でしましょう。(車やオートバイは厳禁です)

頭を保護する

ヘルメットや防災ずきんで頭を保護しましょう。

荷物の量は

荷物は最小限の物にしましょう。

高齢者・子ども

高齢者や子どもの手はしっかり握りましょう。

移動時の道

移動するときは狭い道、堀ぎわ、川べり等を避けましょう。

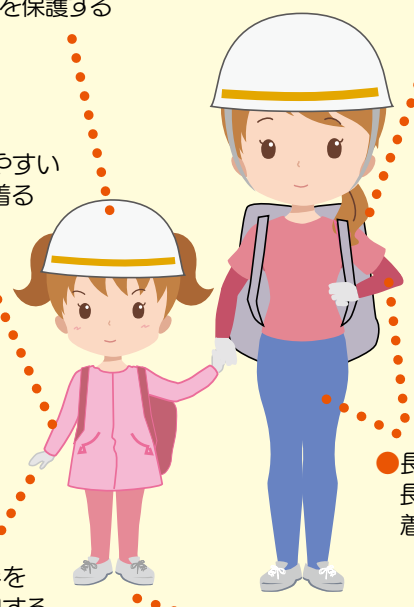
安全を最優先

安全を最優先にし、最寄りの避難場所へ行きましょう。

集合場所

近所の人たちと集団で、まず決められた集合場所に移動しましょう。

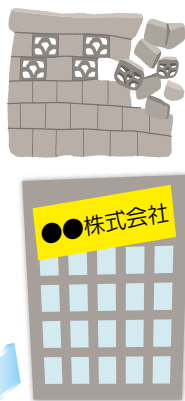
避難するときの服装

- ヘルメットや防災ずきんで頭を保護する
 - リュックサック等を使用し、両手がふさがらないようにする
 - 動きやすい服を着る
 - 長袖、長ズボンを着用する
 - 軍手を着用する
 - 靴は底の厚い、履き慣れた靴を履く
- 

もしも 屋外で地震の揺れを感じた場合

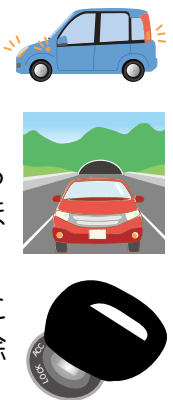
屋外では

- 建物やブロック塀のそばから離れる。
- バッグや上着などで頭を守る。その際に手首は内側にして保護する。
- 看板や割れたガラスの落下に注意する。



車の運転中は

- ハザードランプをつけてゆっくり減速、車を道路の左に寄せる。
- 橋の上やトンネルは崩れる可能性があるため、出口が近い場合は、通り抜けるほうが安全な場合もある。
- 車を置いて避難する場合は、緊急移動に備えて鍵はつけたまま、ドアロックは解除しておく。車内に連絡先を残しておく。



地震発生

1

まずは、落ち着いて自分の身を守る

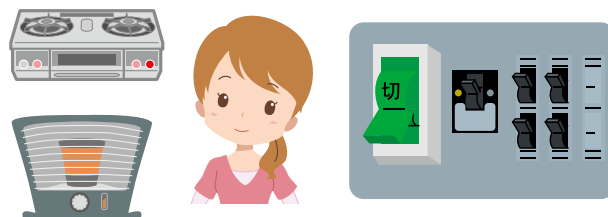
タンスや棚から離れ、揺れがおさまるまで頑丈なテーブルや机の下などに身をかくしましょう。



2

すばやく火の始末

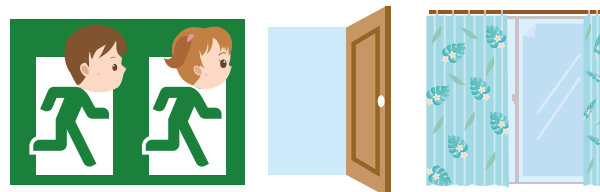
コンロ等の火の始末、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。



3

脱出口の確保

ドアを開けて出口を確保しましょう。



4

あわてて外に飛び出さない

すぐに外に出ず、状況を判断しましょう。
※ガラス、瓦、看板等が落ちてくるため

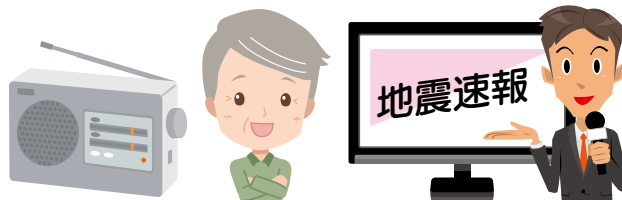
ガラスの破片に注意

室内はスリッパなどで行動しましょう。

5

正しい情報の入手

ラジオやテレビなどで正しい情報を入手しましょう。



6

冷静に避難

揺れが収まっても、危険を感じた時は、冷静に判断して避難しましょう。










マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風や地震、津波等の災害時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動

地震・津波版

時系列	気象情報・避難情報	私（家族）の行動
平常時		<input type="checkbox"/> 食料の備蓄（3日～1週間分） <input type="checkbox"/> 非常持出品の準備（P18～19参照） <input type="checkbox"/> 家具の転倒や落下防止対策 <input type="checkbox"/> 自宅の耐震性確認・必要に応じた耐震改修の実施 <input type="checkbox"/> ハザードマップの確認（地震・津波ハザードマップ） <input type="checkbox"/> 自宅が津波浸水想定区域内（浸水深： m） <input type="checkbox"/> 津波浸水想定区域外 <input type="checkbox"/> 家庭内で災害時の連絡方法や避難先、避難経路等を話し合う 避難先 <input type="checkbox"/> しゅうなん防災・インターネット・テレビ等で災害についての情報収集 <input type="checkbox"/> 災害時の情報収集方法について確認・準備（P22～23参照） <input type="checkbox"/> 家族と連絡が取れない場合の連絡手段を確認 災害用伝言ダイヤル（171）・SNS <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練などに参加 <input type="checkbox"/> _____ <input type="checkbox"/> _____
地震発生 ～5分	緊急地震速報 各種地震 津波情報 市からの避難情報 （避難指示等）	<input type="checkbox"/> 大きな揺れに備え、「姿勢を低く、頭を守り、動かない」（Drop,Cover,Hold on） <input type="checkbox"/> 丈夫な机の下などに避難 <input type="checkbox"/> 家具の転倒や落下物に注意 <input type="checkbox"/> ゆれが収まってから落ち着いて行動 <input type="checkbox"/> あわてて外に飛び出さない <input type="checkbox"/> （屋外の場合）ブロック塀などの転倒や落下物に注意 <input type="checkbox"/> 落ち着いて周囲の状況を確認 <input type="checkbox"/> 火の始末 <input type="checkbox"/> 家族の安全を確認 <input type="checkbox"/> ガラスなどの飛散に注意 <input type="checkbox"/> ドアなどを開けて逃げ道を確保 <input type="checkbox"/> 津波の恐れがあるか情報確認 <input type="checkbox"/> _____
～30分		<input type="checkbox"/> 津波情報・避難情報を確認し、避難の必要があるか判断 <input type="checkbox"/> 非常持出品を確認 <input type="checkbox"/> 余震に注意 <input type="checkbox"/> あらかじめ決めた避難場所に避難する <input type="checkbox"/> 避難するときは、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める <input type="checkbox"/> 避難の際は、ブロック塀などの倒れそうなものには近づかない <input type="checkbox"/> _____
～6時間	津波による海面変動 （地震発生から約45分） 最高津波水位到達 （地震発生から約2時間） 避難情報・津波情報 （解除）	<input type="checkbox"/> 津波情報や避難指示等が解除されるまでは海岸に近づかない <input type="checkbox"/> 自宅の状況が安全であれば、自宅に戻る <input type="checkbox"/> _____ <input type="checkbox"/> _____
～3日間		<input type="checkbox"/> 家族等の安否確認 <input type="checkbox"/> 自宅で生活ができない場合は避難所等で生活 <input type="checkbox"/> 避難所ではお互いに協力し、ルールを守る <input type="checkbox"/> _____

のための一助とするものです。その検討過程では、市が作成・公表したハザードマップを用いて、自らの様々なリスクを知り、どの様な避難行動が必要か、また、どういうタイミングで避難することが良いのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考えるものです。

大雨・台風版

時系列	警戒レベル	気象情報・避難情報	私(家族)の行動
日頃からの備え	平常時 		<input type="checkbox"/> 食料の備蓄 (3日~1週間分) <input type="checkbox"/> 非常持出品の準備 (P18~19参照) <input type="checkbox"/> ハザードマップで自宅の状況を確認 (土砂災害・洪水・高潮) 土砂災害特別警戒区域内 / 警戒区域内 / 区域外 洪水浸水想定区域内 (m) / 区域外 高潮浸水想定区域内 (m) / 区域外 <input type="checkbox"/> 家庭内で災害時の連絡方法や避難先、避難経路等を話し合う 避難先 _____ <input type="checkbox"/> しゅうなん防災・インターネット・テレビ等で災害についての情報収集 <input type="checkbox"/> 災害時の情報収集方法について確認・準備 (P22~23参照) <input type="checkbox"/> 家族と連絡が取れない場合の連絡手段を確認 災害用伝言ダイヤル(171)・SNS <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練などに参加 <input type="checkbox"/> _____
1~3日前 大雨・台風の	レベル1 	早期注意情報	<input type="checkbox"/> テレビやインターネット、携帯電話で天気予報をこまめに確認 <input type="checkbox"/> 避難場所や経路等を確認 <input type="checkbox"/> 非常持出品を確認 <input type="checkbox"/> 家族の今後の予定を確認 <input type="checkbox"/> 台風対策 (風で飛びそうなものをしまう等) <input type="checkbox"/> _____
次第に風雨強まる 台風接近	レベル2 	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 氾濫注意情報	<input type="checkbox"/> 避難の準備 (避難場所・経路の確認、非常持出品の準備) <input type="checkbox"/> 携帯電話を充電 <input type="checkbox"/> テレビやインターネット、携帯電話で天気予報をこまめに確認 <input type="checkbox"/> 市からの情報 (避難所の開設情報・避難情報) を確認 <input type="checkbox"/> 避難情報発令前でも、必要があれば自主避難 <input type="checkbox"/> _____
	レベル3 	大雨警報・洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報 (警報に切り替える 可能性が高い場合) 高齢者等避難	<input type="checkbox"/> テレビやインターネット、携帯電話で気象情報をこまめに確認 <input type="checkbox"/> 市からの情報 (避難所の開設情報・避難情報) を確認 <input type="checkbox"/> 避難の準備 (避難場所・経路の確認、非常持出品の準備) <input type="checkbox"/> 避難情報発令前でも、必要があれば自主避難 <input type="checkbox"/> 高齢者等避難が発令されたら避難 <input type="checkbox"/> _____
河川水位上昇 風雨強い	レベル4 	土砂災害警戒情報 顕著な大雨に関する情報 (線状降水帯) 氾濫危険情報 高潮警報・高潮特別警報 避難指示	<input type="checkbox"/> テレビやインターネット、携帯電話で気象情報をこまめに確認 <input type="checkbox"/> 避難所の開設情報を確認 <input type="checkbox"/> 避難情報発令前でも、必要があれば自主避難 <input type="checkbox"/> 避難指示が発令されたら避難 <input type="checkbox"/> _____
災害発生	レベル5	大雨特別警報 氾濫発生情報 避難確保計画	<input type="checkbox"/> 災害が発生、又は切迫している状況。避難が難しい場合は自宅の2階以上で垂直避難する等、命を守る行動をとる <input type="checkbox"/> _____

避難所の再確認をしましょう

市の指定避難所は、既存の施設を活用しているため、必ずしも全ての施設が、全ての災害から身を守るのに適した場所とは限りません。どのような災害が発生したときどこに避難をするのか、もう一度確認をしておきましょう。



避難所一覧

緊急避難場所 災害が差し迫った状況や災害発生時に、緊急的に避難し、身の安全を確保することができる場所

避難所 災害発生時、被災者が一定期間滞在することができる施設など

◆避難所欄の「○」

避難所と緊急避難場所を兼ねる施設

◆避難所欄の「緊」

緊急避難場所

※学校については、地震・津波・大火事の場合の緊急避難場所はグラウンド、それ以外の場合の緊急避難場所および避難所は体育館として、その適否などを記載しています。

◆災害種別適否欄

「●」… 適、「×」… 不適

「-」… 耐震性が不明または対象外の施設

「▲」… 校舎などの一部が土砂災害警戒区域内にあるが、避難所などとして利用する体育館などは利用可能の施設

「●*」… 洪水は、計画規模降雨(河川の洪水を防ぐために河川整備の目標とする降雨)時の避難所使用の可否です。高潮は、想定し得る最大規模高潮時2階以上のみ利用可の施設

■周南市指定緊急避難場所・避難所一覧

(令和5年10月現在)

地区	緊急避難場所・避難所	所在地	避難所	災害種別適否					
				地震	津波	高潮	洪水	土砂	大火事
中央 ・ 関門	徳山小学校	毛利町1丁目1	○	●	●	●	●	●	●
	岐陽中学校	徳山4915	○	●	●	●	●	●	●
	徳山保健センター	児玉町1丁目1	○	●	●	●	●	●	×
	中央地区市民センター	飯島町1丁目13	○	●	●	●	●	●	×
	児玉公園	桜馬場通1丁目3	緊	●	●	-	-	-	●
	東川緑地公園	桜馬場通2丁目外	緊	●	×	-	-	-	●
	青空公園	飯島町2丁目29	緊	●	●	-	-	-	●
	代々木公園	代々木通2丁目24	緊	●	●	-	-	-	●
	晴海公園	築港町113	緊	●	×	-	-	-	●
	徳山駅南北自由通路 南口エスカレーター棟(2階)を含む	徳山字	緊	●	●	●	●	●	×
遠石	遠石小学校	遠石1丁目3-48	○	●	●	●	●	●	●
	遠石市民センター	若草町6-33	○	●	●	●	●	●	×
	徳山社会福祉センター	速玉町3-17	○	●	●	●	●	●	×
	速玉公園	速玉町2132-15外	緊	●	●	-	-	-	●

地区	緊急避難場所・避難所	所在地	避難所	災害種別適否					
				地震	津波	高潮	洪水	土砂	大火事
遠石	慶万公園	慶万町1847-3	緊	●	●	-	-	-	●
	ゆめタウン徳山(3階以上駐車場)	青山町1-18	緊	●	●	-	-	-	●
秋月	秋月小学校	秋月1丁目1-50	○	●	●	●	●	▲	●
	秋月中学校	秋月1丁目1-53	○	●	●	●	●	▲	●
	秋月市民センター	楠木2丁目1-25	○	×	●	●	●	●	×
	秋月公園	秋月2丁目26	緊	●	●	-	-	-	●
周陽	周陽小学校	周陽1丁目15-1	○	●	●	●	●	●	●
	周陽中学校	周陽3丁目3-1	○	●	●	●	●	●	●
	周陽市民センター	周陽2丁目8-2	○	●	●	●	●	●	×
	徳山商工高等学校	周陽3丁目1-1	○	●	●	●	●	▲	●
	東部高等産業技術学校	瀬戸見町15-1	○	●	●	●	●	×	●
	麒麟ビバレッジ 周南総合スポーツセンター	徳山427	○	●	●	●	●	●	●
	周南緑地	徳山字遠石外	緊	●	●	-	-	-	●
	周南緑道緑地	周陽1丁目59外	緊	●	●	-	-	-	●
	周陽公園	周陽3丁目17	緊	●	●	-	-	-	●
	孝田公園	孝田町9番外	緊	●	●	-	-	-	●
桜木	桜木小学校	桜木1丁目11-1	○	●	●	●	●	●	●
	桜木市民センター	城ヶ丘2丁目4-21	○	●	●	●	●	●	×
	周南公立大学	学園台843-4-2	○	●	●	●	●	●	●
	徳山工業高等専門学校	学園台	緊	●	●	-	-	-	●
	城ヶ丘公園	城ヶ丘5丁目27	緊	●	●	-	-	-	●
今宿	今宿小学校	今住町1-40	○	●	●	●	●	●	●
	住吉中学校	住吉町1-80	○	●	●	●	●	×	●
	今宿市民センター	原宿町6-12	○	×	●	●	●	●	×
	今宿市民センター西松原分館	西松原4丁目4-40	○	●	×	×	×	●	×
	尚白園	新宿通6丁目1-25	○	●	●	●*	●	×	×
	御山集会所	徳山7873-4	○	×	●	●	●	●	×
	徳曹会館	初音町2丁目2-25	緊	●	●	-	●	-	-
	トクヤマ文化体育館	江口1丁目1-25	緊	●	-	-	-	-	-
	岡田原西公園	原宿町73	緊	●	●	-	-	-	●
	金剛山公園	東北山1丁目6830-2外	緊	●	●	-	-	-	●
	緑町公園	緑町3丁目45	緊	●	●	-	-	-	●
	尚白公園	新宿通6丁目48	緊	●	●	-	-	-	●
新地ふれあいパーク	新地2丁目154	緊	●	×	-	-	-	●	
岐山	岐山市民センター	徳山5649	○	×	●	●	●	●	×

地区	緊急避難場所・避難所	所在地	避難所	災害種別適否					
				地震	津波	高潮	洪水	土砂	大火事
岐山	岐山小学校	徳山5673	○	●	●	●	●	●	●
	徳山高等学校	鐘楼町2-50	○	●	●	●	●	●	●
	文化会館	徳山5854-41	○	●	●	●	●	●	×
	桜ヶ丘高等学校	徳山5626-1	○	●	●	●	●	●	●
	徳山公園	徳山字金剛山1011-1外	緊	●	●	-	-	-	●
	東辻公園	辻町93	緊	●	●	-	-	-	●
御浜	御浜小学校	栗屋860	○	●	×	×	●	▲	●
	御浜市民センター	櫛ヶ浜458	○	●	●	×	●*	●	●
	徳山総合支援学校	栗屋267-1	○	×	●	●	●	▲	●
	徳山モーターボート競走場 (駐車場)	栗屋1033	緊	●	×	-	-	-	●
	華西公園	鼓海1丁目324-23外	緊	●	×	-	-	-	●
	二葉屋開作公園	栗屋字二葉屋開作1035-7外	緊	●	×	-	-	-	●
久米	久米小学校	久米3417	○	●	●	●	●	●	●
	久米小学校譲羽分校	譲羽559-1	○	●	●	●	●	×	●
	平井集会所	久米1260-4	○	×	●	●*	●	●	×
	久米市民センター	久米2812-1	○	●	●	●	●	●	×
	東福祉館	久米1316-1	○	×	●	●*	×	●	×
	太華中学校	久米4117-4	○	●	●	●	●	▲	●
	鼓ヶ浦整肢学園	久米752-4	○	-	●	●	●	×	×
	田中公園	久米字迫明3111-3	緊	●	●	-	-	-	●
高田公園	久米字興徳寺1095-2外	緊	●	●	-	-	-	●	
鼓南	(旧) 粕島小学校	粕島314-1	○	●	×	×	●	×	●
	鼓南中学校	大島880	○	●	●	●	●	▲	●
	大島市民センター	大島1601	○	●	●	●*	●	●	×
	粕島市民センター	粕島227	○	×	×	×	●	●	×
	鼓南地区総合運動場	大島1685	緊	●	●	-	-	-	●
菊川	四熊小学校	四熊1547	○	●	●	●	●	×	●
	小畑小学校	小畑190	○	●	●	●	●	×	●
	菊川中学校	上村685	○	●	●	●	●*	×	●
	菊川市民センター加見分館 大火事：加見公園	上村703-01	○	●	●	●	●*	●	●
	菊川市民センター	下上2146	○	×	●	●	●*	×	×
	小畑市民センター	小畑190	○	●	●	●	●	×	×
	四熊市民センター	四熊1417	○	●	●	●	●	●	×
	菊川小学校	下上88	○	●	●	●	●*	●	●

地区	緊急避難場所・避難所	所在地	避難所	災害種別適否					
				地震	津波	高潮	洪水	土砂	大火事
菊川	菊川市民センター富岡分館 大火事：富岡公園	下上1560	○	●	●	●	●	×	●
向道	大向小学校	大向1652-1	○	●	●	●	●	●	●
	大道理地区体育館	大道理1332	○	●	●	●	●	×	●
	向道湖ふれあいの家	大向826-1	○	●	●	●	●	●	×
	大向市民センター	大向1653-1	○	×	●	●	●	×	×
	大道理市民センター	大道理1332	○	●	●	●	●	●	●
夜市	夜市小学校	夜市730	○	●	●	●	●*	●	●
	夜市市民センター	夜市660-1	○	●	●	●	●*	●	×
戸田	戸田小学校	戸田2527-2	○	●	●	●	●	●	●
	戸田市民センター	戸田2845-2	○	●	●	●	●*	×	×
	桜田中学校	戸田2960	○	●	●	●	●	×	●
	道の駅ソレーネ周南	戸田2713	緊	●	●	●	-	●	●
	和泉産業(株) 周南バイオマスセンター	戸田	緊	●	●	●	●	●	●
湯野	湯野小学校	湯野3843	○	●	●	●	●	▲	●
	湯野市民センター	湯野4230-1	○	●	●	●	×	●	×
大津島	大津島小学校 大火事：(旧)大津島中学校グラウンド	大津島1964-1	○	●	×	×	●	×	●
	大津島海の郷	大津島217-1	○	●	×	×	●	×	●
	大津島支所	大津島1361-4	○	×	●	●	●	×	×
	(旧)馬島公民館	大津島2042	○	●	×	×	●	●	×
	回天記念館	大津島1960	緊	●	●	●	-	-	-
長穂	長穂地区体育館	長穂1691	○	●	●	●	●	●	●
	長穂市民センター	長穂1691	○	●	●	●	●	●	●
須々万	沼城小学校	須々万本郷514	○	●	●	●	●	●	●
	須々万中学校	須々万本郷362-5	○	●	●	●	●	●	●
	須々万市民センター別館	須々万本郷480-11	○	●	●	●	●	●	×
	須々万市民センター	須々万本郷478-2	○	×	●	●	●	●	×
中須	中須小学校	中須南2583	○	●	●	●	●	×	●
	中須市民センター	中須南2557-1	○	●	●	●	●	●	×
	大田原自然の家	中須北3194	○	×	●	●	●	×	×
	中須中学校	中須南2281	○	●	●	●	●	×	●
須金	須磨小学校	須万2581	○	●	●	●	●	●	●
	須金市民センター	須万2427-2	○	●	●	●	●	●	×
富田東	明石集会所	川崎3丁目11-34	○	×	●	×	×	●	×

地区	緊急避難場所・避難所	所在地	避難所	災害種別適否					
				地震	津波	高潮	洪水	土砂	大火事
富田東	富田東小学校	桶川町2-1	○	●	●	×	×	●	●
	とんとん会館	古泉3丁目12-20	○	●	×	×	×	●	×
	新南陽高等学校	土井1丁目8-1	○	●	●	●	●	●	●
	TOSOH PARK 永源山 (永源山公園)	大字富田永源	緊	●	●	-	-	-	●
	政所公園	政所2丁目8-1	緊	●	●	-	-	-	●
	政所東公園	政所3丁目7-6	緊	●	●	-	-	-	●
	川崎公園	川崎3丁目175-23	緊	●	×	-	-	-	●
	清水東公園	清水2丁目1385-4外	緊	●	●	-	-	-	●
	清水西公園	清水1丁目1417-2外	緊	●	●	-	-	-	●
	ゆめタウン新南陽 (4階以上駐車場)	清水2丁目2-1	緊	●	●	●	-	-	●
富田西	富田中学校	富田2703-1	○	●	●	×	●	●	●
	ほのぼの会館	大神2丁目7-24	○	●	●	●	●	×	×
	富田西小学校	富田2丁目14-1	○	●	●	●	●	×	●
	光万寺集会所	河内町10-4	○	×	●	●	●	●	×
	南陽工業高等学校	温田1丁目1-1	○	●	●	●	●	▲	●
	学び・交流プラザ	中央町4-10	○	●	●	×	●*	●	●
	中央公園	中央町4-10	緊	●	●	-	-	-	-
	宮の前公園	宮の前2丁目3-2	緊	●	●	-	-	-	-
福川	福川小学校	福川3丁目2-1	○	●	●	●	●	×	●
	新南陽ふれあいセンター	福川南町2-1	○	●	●	×	●	●	×
	福川中学校	若山1丁目7-1	○	●	●	×	●*	▲	●
	福川南小学校	中畷町6-1	○	●	●	●*	●*	●	●
	みなみ会館	中畷町6-5	○	●	●	×	●*	●	●
	福川南公園	中畷町2353番71外	緊	●	●	-	-	-	●
	上迫公園	上迫町1034	緊	●	●	-	-	-	●
	柏屋新田公園	新田1丁目2612-72	緊	●	●	-	-	-	●
	長田公園	長田町18	緊	●	●	-	-	-	●
	福川地区総合グラウンド	長田町27-1	緊	●	●	-	-	-	●
和田	矢地峠集会所	馬神1409-1	○	-	●	●	●	×	×
	馬神集会所	馬神833-12	○	●	●	●	●	×	×
	新南陽斎場	米光2185	○	●	●	●	●	×	×
	平木集会所	米光平木	○	-	●	●	●	×	×
	和田老人憩の家・老人作業所	米光836-5	○	×	●	●	●*	●	×
	和田小学校	埜212-1	○	●	●	●	×	×	●

地区	緊急避難場所・避難所	所在地	避難所	災害種別適否					
				地震	津波	高潮	洪水	土砂	大火事
和田	夏切集会所	夏切1140-1	○	-	●	●	●	×	×
	中村区公会堂	夏切221-2	○	-	●	●	●	×	×
	林集会所	夏切672	○	-	●	●	●	×	×
	大原公会堂	高瀬627-1	○	-	●	●	●	×	×
	高瀬集会所	高瀬690-3	○	●	●	●	●	●	×
	西迫下集会所	高瀬1026	○	-	●	●	●	×	×
	打木野集会所	馬神788-1	○	-	●	●	●	×	×
	和田市民センター	埜218	○	●	●	●	×	×	●
大河内	大河内市民センター	大河内1638-23	○	●	●	●	●	●	×
	大河内小学校	大河内1115-1	○	●	●	●	●	●	●
勝間	ゆめプラザ熊毛 大火事：熊毛総合支所駐車場	熊毛中央町1-1	○	●	●	●	●	●	●
	勝間市民センター	呼坂1193-1	○	●	●	●	●	●	×
	熊毛体育センター	呼坂9-71	○	●	●	●	●	●	×
	勝間小学校	勝間ヶ丘1-1-1	○	●	●	●	●	●	●
	熊毛中学校	安田1827-1	○	●	●	●	●	●	●
	熊毛武道館	安田1837-2	○	●	●	●	●	●	×
	サンウイング熊毛	中村803-2	○	●	●	●	●	●	×
	周南カントリー倶楽部	安田355	緊	●	●	-	-	-	●
高水	高水市民センター	樋口491	○	●	●	●	●	●	×
	高水会館	原1-5	○	×	●	●	●	●	×
	高水小学校	樋口288-1	○	●	●	●	●	●	●
三丘	三丘市民センター	安田562-2	○	●	●	●	×	●	●
	三丘小学校	小松原1242	○	●	●	●	●*	×	●
	熊毛北高等学校	安田1-2	○	●	●	●	●	●	●
	東善寺やすらぎの里	小松原1706-1	○	●	●	●	●*	×	×
	ケアハウス三丘	小松原1234-3	緊	●	●	●	●	×	●
八代	鶴いこいの里交流センター	八代826-8	○	●	●	●	●	●	×
鹿野	鹿野総合支所	鹿野上3277	○	×	●	●	●	●	×
	鹿野総合体育館	鹿野上3028-1	○	●	●	●	●	●	×
	コアプラザかの	鹿野上910	○	●	●	●	●*	●	×
	鹿野小学校	鹿野上3054	○	●	●	●	●	●	●
	(旧) 渋川小学校	鹿野上1084	○	●	●	●	●	×	●
	大潮田舎の店	大潮1386-6	○	●	●	●	●	×	×
	仁保津公民館	巢山1410	○	-	●	●	●	×	×
	金峰山の里交流館	金峰3964	○	●	●	●	●	×	×

女性・子どもに配慮した 避難所生活での防犯と工夫

ストレスが高まりやすい災害時は、女性や子どもが犯罪に巻き込まれる恐れがありますので、注意が必要です。

また、避難所では少しでも安全・快適に過ごすために女性や子どもの視点を取り入れた運営が大切です。



避難所生活で自分を守るための注意点

- 人目につきにくい場所や夜間は一人で出歩かない
- 出かけるときは周りに声をかけてから
- 知らない人からの声掛けに注意する
- 在宅避難の人は、むやみに人を家に入れない
ガス・電気の点検を装った不審者が来訪することがあるため、身分証明書を確認!
- 遠慮せずに意見を伝える
「トイレを男女別にして!」など
- 服装に注意する
スカート履かないなど
- 女性や子どもはひとりにならない
子ども、障がい者などは特に周りの人達が配慮する

注意して
行動しよう!



● 避難所のスタッフになって運営に参加しよう!

- 男性・女性ともにリーダーを配置するなど、男女のニーズの違いに適切に対応できる体制をつくる
- プライバシー確保のための間仕切りを設置
- 男女別の就寝場所、トイレ、お風呂、更衣室、物干し場を設ける
- 授乳・おむつ替えの部屋を設ける
- 清掃や炊事当番などは男女ともに分担する
- 極力、死角となるような場所を作らない(トイレの位置に注意)



女性の視点からの
防災ガイドブック

いざという時のために知っておこう!

きん きゅう じ

緊急時 テレホンガイド



警察は

110番

火事・救急は

119番

海上の
事故・事件は

118番

災害用伝言板アプリの紹介

(docomo、SoftBank、au)

携帯電話を活用した、災害伝言板が各キャリアごとに提供されています。

各キャリア別の災害用伝言板への アクセス方法

※利用方法に関する詳細は、各社のHP等でご確認ください。
※2018年10月時点での情報です。

●NTT docomo

・スマートフォン
「dメニュー」または、
「災害用キット」のアプリを
選択しご利用ください。



●SoftBank

・スマートフォン
下記のアプリをダウンロードして
ご利用ください。

iPhone・iPad版



Android版



●au

・Androidスマートフォンの方
「au Market」→「au災害対策」アプリを
起動かダウンロード
・iPhoneの方
「AppStore」→「au災害対策」アプリを
起動かダウンロード

災害時伝言ダイヤル「171」

NTTでは震度6弱以上の地震発生時等、被災地への安否確認電話が集中する場合にサービスを開始します。サービス開始はテレビやラジオで告知されます。171番にダイヤルするとガイダンスが流れるので、それにしたがって利用します。(事前契約不要)

災害時は一般の電話がかかりにくくなります。安否の確認などには、NTTの災害伝言ダイヤルや携帯電話各社が運用している災害用伝言板などのサービスを利用しましょう。

災害用伝言ダイヤルの使い方



被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地にいる連絡を取りたい人の電話番号をダイヤルする。

体験利用のご案内

災害時以外にも、災害用伝言ダイヤル(171)(電話サービス)をご体験していただけるように「体験利用日」を設定しております。是非、家族・親戚・友人間で体験していただきますようお願いいたします。

【体験利用日】

- ・毎月1日及び15日 00:00~24:00
- ・正月三が日(1月1日00:00~1月3日24:00)
- ・防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- ・防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

【提供条件】

- ・伝言録音時間: 30秒
- ・伝言保存期間: 体験利用期間終了まで
- ・伝言蓄積数: 20伝言



家族集合場所 _____

家族集合場所 ☺ _____

避難所候補 _____

避難場所 ☺ _____

集合場所・避難場所

災害携帯カード

氏名 _____

mail _____

氏名 _____

mail _____

氏名 _____

mail _____

緊急連絡先

①山折

NTT 災害伝言ダイヤル

①伝言録音 171 + 1 + 自宅の電話番号 _____

②伝言再生 171 + 2 + 自宅の電話番号 _____

③伝言録音 171 + 3 + 自宅の電話番号 _____

④伝言再生 171 + 4 + 自宅の電話番号 _____

⑤暗証番号 _____

暗証番号利用

氏名： _____ 性別： 男・女

血液型： _____ (RH) 生年月日： _____

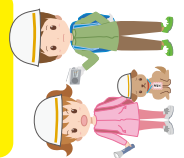
自宅住所： _____

自宅電話番号： _____

勤務先(学校)： _____

②山折

持病 常用薬



かかりつけ医療機関 _____

持病(アレルギー) _____

服用している薬 _____



番号控え

マイナンバー _____

運転免許証 _____

生命保険証番号 _____

火災保険証券番号 _____

パスポート番号 _____

車両登録番号 _____

記入しておこう！

我が家の防災メモ

◎一時避難所

◎家族の集合場所

◎緊急連絡先

◎かかりつけ医療機関

◎避難の役割分担

- ・持ち出し袋の管理
- ・非常食の点検
- ・電気・ガス・水道の点検
- ・家具の転倒防止の点検

◎公共の防災機関

周南市防災危機管理課

☎0834-22-8208
(閉庁時：22-8332)

火事・救急 119番

警察 110番

災害用伝言ダイヤル 171番

災害用伝言板 文章メッセージ web171で、検索